

# 技術分類 標本作製・管理

キーワード 標本, スライド, 組織, ミクロトーム

ID	技術分類	能力	スキル 種類	資格・ 修了書等	スキル達成条件
RIA001	標本作製・ 管理	病理組織標本作成	技		<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な病理組織標本作成の方法を理解している</li> <li>薄切～封入の適切な操作や、不適切な操作が及ぼす影響を理解している</li> <li>試料作製装置や試薬の危険性を理解し、安全に扱える</li> <li>適切な操作で固定～染色ができる</li> <li>実施する染色法に応じた切片厚で薄切できる</li> <li>アーチファクトや染色不良を回避でき、一般的なトラブルに対応できる</li> <li>作製した標本が鏡検に適しているか評価し、必要に応じて再作製出来る</li> <li>抗体や発色基質などに応じて染色プロトコルの見直しができる</li> </ul>
RIA002	標本作製・ 管理	血液塗抹標本作成	技		<ul style="list-style-type: none"> <li>作製した塗抹標本が観察・評価に適しているか判断できる</li> <li>目的に応じて薄層/厚層での血液塗抹ができる</li> <li>一般的な染色法の原理を理解し、実施できる</li> </ul>
RIA003	標本作製・ 管理	細胞診標本作成	技		<ul style="list-style-type: none"> <li>検体が検査に適しているか否か判断できる</li> <li>検体により、作製の際に感染対策ができる</li> <li>検体の種類や採取法、性状から適切な塗抹法を選択できる</li> <li>染色方法に応じて適切な前処理を実施できる</li> <li>作成した標本が観察・評価に適しているか判断できる</li> </ul>
RIA004	標本作製・ 管理	セルブロック作製	技		<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの作製法の特徴や手技、注意点を理解している</li> <li>検体により、作成の際に感染対策ができる</li> <li>作製したセルブロックが検体またはコントロールとして用いられるものか判断できる</li> </ul>
RIA005	標本作製・ 管理	組織標本作成	技		<ul style="list-style-type: none"> <li>自動包埋装置、自動薄切装置、自動染色装置、自動封入装置の操作・管理ができる。ミクロトームを使って薄切ができる。</li> </ul>